

第50回 生体制御学セミナー

光から粒子へ：

～粒子線がん治療のための基礎研究～

重粒子線と免疫併用療法による局所腫瘍からの
がん転移抑制

馬 立秋 博士

放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター

先端粒子線生物研究プログラム 転移機構解析研究チーム

場所： 理学部2号棟 2階 9番教室

日時： 12月19日、13:30～14:30

概要：

放射線は我々の生活において幅広く利用されているが、X線やガンマ線といった光だけでなく、光速近くまで加速した粒子もまた近年使用されている。この粒子線はこれまでの光子とは異なる物理・化学・生物学的特性を持ち、植物の新品種開発研究や宇宙線生物影響研究、そしてがん治療に用いられている。放射線医学総合研究所でも、約20年前より重粒子線による臨床・基礎研究を始めている。今回は、その重粒子線について紹介するとともに、私のテーマであるマウスモデルを用いた『重粒子-免疫併用療法の解析』についてお話しいたします。

問い合わせ先：理学部遺伝学研究室 田中 秀逸

(内線：4345、Email：shtanaka@mail.saitama-u.ac.jp)